

令和3年度 中学生模擬議会 質問・答弁一覧

※この一覧表は、発言予定原稿を編集したものであり、当日の発言内容とは異なる場合があります。

グループ	項目	質問内容	答弁内容
総務	(1) 交通安全 (2) 不審者対策 (3) 人口減少対策	<p>(1) 毎年特に、冬に道路が凍ってスリップする事故がたくさんあるし、学生の飛び出しで危ない状況を何回も目の当たりにしているが、交通事故を起こさないための対策はありますか。</p> <p>(2) 次に、近くのコンビニエンスストアに不審者が出て、怖い思いをしている人がたくさんいるし、毎年何回も不審者が出ていることが気になったが、どのような不審者対策を考えていますか。</p> <p>(3) 次に人口減少についてお聞きします。質問内容にたくさん人口減少のことが挙げられていて、みんなが問題に感じていることからお聞きします。実際、清里の学校の生徒数も年々減っているし、人口も減っていることが、グラフでははっきり示されているが、上越市の人口減少についてどう対策していますか。</p>	<p>(1) 今、行政や警察が一番力を入れているのが、横断歩行時の事故を防ぐことです。何といても、歩行者が一番の交通弱者です。</p> <p>でも、その対策はなかなか大変です。</p> <p>例えば、横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいたら、車は必ず止まらなくてはならないのですが、全国では止まる車は10台に4台、新潟県ではちょうど半分、一番止まるのが長野県で10台に7台です。この率をもっと上げていくことが大事です。</p> <p>残念ながら、しばらくは、「横断歩道でも、半分の車は止まってくれない」と思って、皆さんも自分の身を守ってください。市も交通安全がもっと進むよう最善の努力を重ねていきます。</p> <p>さて、雪のスリップ事故をどう防ぐか、これは皆さんというより車を運転する大人の皆さんが注意すべきことですが、溝があるかなどタイヤはちゃんとしているか、カーブの手前などスピードを落とすこと、急のつくこと（急発進、急ハンドル、急ブレーキ）をしない、車間距離を保つことなどが大事です。</p> <p>皆さんのご家族で車を運転する方がいると思います。どうか今申し上げたことを守るよう、お話ししてみてください。</p> <p>学生の飛び出しへのご心配にお答えします。</p> <p>児童生徒、特に小学生の自転車の飛び出し事故が多発しています。市の教育委員会は、何よりも大切な児童生徒の命を守らなくてはならないという考えの下、様々な取組をしています。</p>

グループ	項目	質問内容	答弁内容
			<p>毎年4月に、春の交通安全の指導を各学校にお願いして、PTAと学校が協力して安全教室を行っています。</p> <p>また、皆さんの通学路に危ない所はないか、学校と町内会が点検し、警察と市役所の道路課、教育委員会が力を合わせて、歩道修繕などを行っています。</p> <p>でも、一番大事なことは、児童生徒の皆さんが、飛び出しは絶対駄目とか自覚を持ってくれることです。自分の身はまず自分で守る。そこは忘れないでください。</p> <p>(2) 令和2年度、上越市内で不審者情報が4件出されました。知らない人から声をかけられたなどの出来事です。でもこれは、通報を受けた数で、実際はもっとあると思われます。</p> <p>市としては、上越警察署、上越市防犯協会、そして地元の皆さんと力を合わせて、皆さんを守ります。</p> <p>そのために欲しいのは、情報です。</p> <p>万一、怖い目に遭ったら、家族、先生、知り合いで信頼できる地元の人、誰でもいいですから、話をしてください。自分の身だけではなく、お友達の安全を守るきっかけにもなります。</p> <p>皆さん、小学生の時、「イカノオスシ」を習いませんでしたか。「知らない人について行かない」、「知らない人の車に乗らない」、「助けて！と大きな声を出す」、「すぐに逃げる」、それから、さっきお話した「起きたことをうちの人に知らせる」、ですね。これをしっかり思い出して、万一の時は自分の身を守ってください。</p> <p>(3) 皆さん、今の上越市の人口を知っていますか。だいたい18万7千人です。皆さんが生まれる少し前の平成17年の大合併の時には21万人ほ</p>

グループ	項目	質問内容	答弁内容
			<p>どでした。もう2万人くらい減ってしまったんです。また、約20年後には15万人と予測されています。</p> <p>これは簡単に言えば、生まれてくる赤ちゃんの数がどんどん減っていること、高校卒業と同時に大勢の若者たちがこのまちを離れることが主な原因です。</p> <p>そこで上越市は、「若者・子育て世代に選ばれるまち、住み続けてもらえるまち」を重要な取組として進めることにしました。</p> <p>4つの柱があります。</p> <p>若い人たちがこのまちに残りたい、あるいは戻りたいと思ってもらえる安定した魅力ある仕事をこのまちにつくこと、結婚するなら、赤ちゃんを産むなら、そして子育てするならここ上越市だねと言ってもらえる環境づくり。豊かな食文化や自然、歴史・文化など私たちのまちらしい観光資源をいかすなど生き生きとしたまちを作ること、そしてここで生まれた若者たちが戻るUターン、東京など他のまちから若者が来るIターン、近いまちの出身者が故郷ではなく上越を選んで住むJターン、いわゆるUIJターンを促すことの4つです。</p> <p>それでも人口は減っていくでしょう。皆さんのような若者が東京などを目指すことに歯止めをかけることはなかなかできないでしょう。</p> <p>でも、地域を愛する皆さんの気持ちは、決して大人に引けは取らないはずです。いつかこのまちで楽しく豊かに暮らしていきたい、そうみなさんが思えるまちづくりをこれからも行政そして議会も頑張っていきますので、皆さんも是非ふるさと上越の良さってなんだろうと話し合っ、て、「上越ラブ」の気持ちを高めてこのまちで暮らし続けるか、出ていったとしても、いつかまたこのまちに戻ってきてください。</p>

グループ	項目	質問内容	答弁内容
総務	(1) 交通安全 【再質問】	清里区では、平成団地などで、死角があってよく見えない交差点がありますが、それについて、どのような対策を取っていますか。	<p>死角対策の前に、先ほどの交通安全での市長答弁を少し補足します。</p> <p>皆さんは夜間に歩いたり、自転車を運転したりすることも多いでしょう。自動車の運転者から見えづらいことがとても危険です。そこで、こうした光る素材のキーホルダーや、タスキ、かかとに貼るシールなどを使うとより安全です。今日は特別に、新潟県警察からいただいたかかとに貼るシールを皆さんにプレゼントします。後で受け取ってください。</p> <p>さて、死角です。</p> <p>死角があって怖い思いをする、これは誰もが経験していることかもしれません。</p> <p>死角対策として力を発揮するのは、カーブミラーです。</p> <p>現在上越市内にいくつあると思いますか。約4,000設置されています。</p> <p>でも、一番力を発揮するのは、歩行者、自転車運転者の自覚です。</p> <p>実は、歩行者、自転車には基本的に「死角」というものはありません。よく左右が見えないところに行ったら、しっかり停まって左右を見ればいいんです。狭い道から出るところには必ず車が来るものだ、そんなふうについていつも注意深くしていること、それ以上の備えはありません。</p>
総務	(2) 不審者対策 【再質問】	いろいろな地域で1回だけでなく、2回3回と不審者が出ているのは市の対策が不十分だからではないですか。	<p>先程市長が答弁したとおり、イカノオスシを忘れずにまず自分で自分の身を守る、それを心がけていただきたいのです。</p> <p>怖い目に遭うのは、女の子、男の子、同じです。</p> <p>イカノオスシを思い出さなくてはならなくなる前に、お願いしたいことがあります。それは、用事のないところへは行かないこと、フラフラ手持ち無沙汰に歩いていると目をつけられやすくなります。</p> <p>そして家を出るときは「いつ誰とどこへ」を必ずおうちの方へ話してください。もう一つ、「何時に帰るか」も忘れずに話してください。</p>

グループ	項目	質問内容	答弁内容
総務	(3) 人口減少対策 【再質問】	カラオケなど、若い人が魅力的に感じるものがあると、もっと人口が増えると私たちは思うのですが、実際人口増加のために今、どのようなことに取り組んでいますか。また、今後どのような取り組みを行っていくつもりですか。再度、市の考えをお聞きます。	カラオケとか魅力的な施設をつくったらどうかというご提案です。そういろんな、若い人が楽しめる施設や文化がこのまちに少ないのは確かかもしれません。豊かな自然や歴史があるなんて言っても、みなさん若者にはピンとこないでしょう。 でも、そういう施設や活動を、大人を当てにしていってもいろんなしがらみでなかなか進まないかもしれません。どうでしょう、皆さんでそういう活動を企画してみたいかですか。 清里の総合事務所の中に空き部屋もあります、今は倉庫になっている櫛池小学校もあります。そういうところを、「自分たちでちゃんと管理します、だから使わせてください」と借りて、カラオケやったり、eスポーツやったり、踊ったりしてみたらどうでしょうか。そんな体験が、もしかしたら皆さんが清里に愛着を育むきっかけになり、いつかまた清里に住みたいという思いを持つことにつながるかもしれません。
厚生	(1) 感染症対策 (2) 地球温暖化防止 (3) ごみの不法投棄対策	(1) 近年、コロナウイルスがさまざまな場所で流行しています。そこで、学校や老人ホームではできる限りの感染症対策をしていますが、上越市では清里区でどのような取組をいらっしゃいますか。 (2) 今、地球温暖化で洪水や土砂崩れなどの災害が起きるとい環境問題があると思います。地球温暖化を防ぐため、CO ₂ の排出をゼロにすることは大切だと思いますが、市ではどのようなことに取り組んでいますか。 (3) 私たちが地域で行っているクリーン作戦に参加すると、がけの下や木の多く生えているところにご	(1) 感染症対策として、清里中学校に限らず全中学校を対象に手指用消毒液、サーキュレーター、CO ₂ モニター等の感染防止物品を配置しています。加えて、感染症対策と教育活動の両立に必要な教材や備品としてプロジェクターやワイヤレスメガホン、Webカメラなどを配備して感染防止を徹底しながら学習支援をしているところであります。 (2) 上越市域における温室効果ガス排出量は214万6千トン-CO ₂ となっており、1990年から2012年度の間約49%増加している現況にあります。市では、地域特性を踏まえて5つのテーマを掲げて地球温暖化防止に向けて取り組んでいます。 ①エネルギー利用による二酸化炭素を減らす取組として、太陽光発電や小水力発電、雪冷熱エネルギー等の利用、導入の推進

グループ	項目	質問内容	答弁内容
		<p>みが多く捨てられています。ごみが捨てられることによってクマやイノシシが人里に近づいてくると言われています。山に捨てられているごみを減らすために行っていることはありますか。</p>	<p>②二酸化炭素の排出が少ないまちをつくる取組として、自動車の利用を控えて、公共交通機関を利用しエコドライブを促進する。また、低燃費自動車や次世代自動車の導入で環境に優しい車の利用を誘導する。</p> <p>③熱環境を見直し、快適に暮らす取組として、建物や敷地の緑化推進や建物等の断熱による熱環境を改善し高温化を抑制する。</p> <p>④限りある資源を有効に利用し持続可能な社会をつくる取組として、ごみの発生の抑制や分別排出を推進する。</p> <p>⑤一人一人が自覚を持って地球温暖化対策に取り組むこととし、温暖化問題に関する意識啓発の推進に取り組む。</p> <p>(3) 不法投棄物の回収においては、上越市不法投棄防止連絡協議会や事業所、行政機関と連携し、不法投棄の未然防止対策の検討や監視、回収作業を実施しています。対策としては、不法投棄多発箇所には投棄防止啓発看板や不法投棄防止ネットを設置するなどをしているところであります。</p>
厚生	(1) 感染症対策 【再質問】	<p>清里区でコロナ感染者を出さないために工夫していることはあるか、再質問します。体育の授業のときや昼休みなどのとき、外ではマスクを外していますが、室内のとき、マスクを外している人がいます。そこで、外ではマスクを外しても良いけど、室内で体育などの運動をするとき、マスクを外しても良いのですか。</p>	<p>運動時においてマスクを着用すると、十分な呼吸ができなくなる危険性や熱中症になる危険が言われています。スポーツ庁からの通知では、運動時におけるマスクの着用は身体の危険を考え、学校体育の授業では屋外、室内問わず必用ないとしています。その上で、お互いの距離を2メートル以上開けることや不用意な会話や発声を行わないとし、授業の前後に手洗いがいなどで感染防止に努めてください。</p>
厚生	(2) 地球温暖化防止 【再質問】	<p>上越市のCO₂排出をなくすためにどのような取組をしているか、再質問します。日常生活でごみを減らすなどの工夫をしていますが、それ以外で僕たち</p>	<p>後ほど、先生を通じてお配りしたいと思います。上越市地球温暖化対策実行計画の概要版に「やってみよう、おうちでできるエコ活動」という10項目が掲載されています。</p>

グループ	項目	質問内容	答弁内容
		が、できることはありますか。	「部屋の明かりをこまめに消す」とか「エアコンは必要な時だけつける」といった、皆さんでもできそうなエコ活動がありますので、ぜひ参考に実践してみてください。一人一人の小さな積み重ねでCO ₂ の削減の取組をお願いします。
厚生	(3) ごみの不法投棄対策 【再質問】	山にごみが捨てられていることについて再質問です。ごみを捨てる人を減らすために、監視カメラを置いた方がいいのではないかと思います。理由は、公園や山などの場所でごみが落ちていて、植物や動物に悪影響があるからです。それを解決するために監視カメラを置いたほうがいいと思いますが、どうですか。	監視カメラでの監視による不法投棄行為の抑止は大きいと考えますが、カメラの維持管理と費用面など課題は大きなものであります。 設置当初は一定の効果は予測されますが、設置箇所の暴露や壊されてしまう危険性も否めないことも踏まえて、課題を整理してみたいと考えます。
農政 建設	(1) 雪対策 (2) 農林水産業・特産品 (3) 道路整備	(1) 雪対策の除雪について質問します。今年の冬は雪が例年よりも多く降り、歩道の除雪が十分にできていませんでした。そのため、登下校に支障がきたされてしまいました。 この経験から、今後の雪対策の除雪についてどのようにお考えになっていますか。 (2) 農林水産業について質問します。 私たちの住んでいる上越市では、お米が多く育てられています。ですが、お米も含めて特産品があまり知られていません。市内の人だけでなく、市外の人たちにも上越市の特産品を知ってもらうためには、どのようなかたちでPRするのか、考えをお聞かせください。 (3) 道路整備について質問します。歩道などでは、路	(1) 市では毎年、冬期の道路除雪や一斉雪下ろし対策、また除排雪を円滑に実施するため、冬期道路交通確保除雪計画を策定し、議会、町内会に説明し降雪時の対応と協力をお願いしています。 お尋ねの歩道除雪は、今冬の災害級の大雪により車道機能の回復を優先するため、車道をかき分けた雪を一時的に歩道に置かざるを得ませんでした。また、路肩部の排雪作業を進めた後でなければ歩道除雪を行うことが難しく歩道除雪が完了するまで日数を要し、登下校にご不便をおかけしました。 今後の雪対策は豪雪の経験を踏まえて町内会、地域住民の皆さんと連携した自助、共助で除排雪ができ、また費用負担もできるような先進事例を学びながら調査研究を進めてまいります。 (2) 当市の基幹産業である農業の持続的な発展に向け、生産、経営対策及び担い手対策として期待されるスマート農業の普及と魅力ある農業先進地上越としての存在感の向上を図るべく、市内各所で様々なスマート

グループ	項目	質問内容	答弁内容
		<p>面にクラックができていたり、川の柵が壊れていたりしています。そこで、歩行者や車のためにも、道路の補強をした方がいいと考えています。市はどのようにお考えですか。</p>	<p>農業技術の展示や体験を通しPRをしています。また、首都圏で開催される新・農業人フェアへの出展や農業体験を通し、お米のみならず農業・園芸の魅力を発信しています。さらに、選ばれる上越の産品づくりと市民ぐるみでの魅力発信の取組としてメイド・イン上越に認証した認証品の販路拡大と販売促進、認知度向上を図るため認証品を市内施設に設置した常設コーナーや首都圏の取扱い店舗で販売、各種イベントへの出店や専用ホームページでPRしております。</p> <p>(3) 市では、道路整備に対する地元要望が年々多様化し、多くの要望に対応しきれない状況から、道路整備の優先順位を定め、着実に課題解決に向けた取組を行う目的で、平成23年10月に「上越市道路整備計画」を策定しました。その後、平成27年度に策定した第2期整備計画に基づき整備を進めてきましたが、令和元年度に完了しました。現在は、令和2年度以降の整備優先路線を定めた第3期整備計画に基づき計画的な整備に取り組んでいます。</p> <p>計画の維持管理についてご紹介しますと、当市では、5,939路線、延長で約2,826kmの市道を管理しており、多くの路線で老朽化が進んでいることから、今後も適切な維持・更新に努めていくとともに、緊急時には迅速に対応できるよう維持管理をまいります。</p>
農政建設	(1) 雪対策 【再質問】	<p>今ほど、雪の除雪に対する回答がありました。今年の雪は、想定外の雪が降り、学校が休みになってしまいました。道路は除雪がされていなく、外出するときも、車が走ることが大変でした。以上のことを考えると、清里区の除雪をどのようにお考えか、詳しく聞かせてください。</p>	<p>清里区に限らず今冬の大雪災害を踏まえて市と除雪業者と各町内会や関係機関と意見交換を行い課題、改善点、協力体制、連絡方法等、様々な点から意見を出し合い、市民の皆さまに安心して冬期間を生活していただけるよう現在取りまとめを行っております。7月下旬に議会に報告し、その後修正、見直し等を行い、除雪計画に反映してまいります。</p>

グループ	項目	質問内容	答弁内容
農政建設	(2) 農林水産業・特産品 【再質問】	<p>今ほど、おっしゃっていたメイド・イン上越について知りたいので、詳しく教えてください。また、上越に住んでいた私さえ、メイド・イン上越のことを初めて知りました。市外の人たちに知ってもらうために、もっとPRしたほうがいいのかと思います。今後のPRについても教えてください。</p>	<p>市内の工業製品や特産品を「メイド・イン上越」として認証し市内外に広く発信しています。現在、工業製品で29製品、特産品で95商品が登録されています。公式ホームページも開設され、特産品には、和菓子、洋菓子、発酵食品、魚介加工品、餅・お茶・押し寿司等に加え、工芸品もあります。また、これらは、上越あるるん村、直江津エルマール1階、うみてらす名立で購入でき、インターネットでも販売しておりますので、ぜひご覧になってください。今後もSNS等を活用して、全国にPRしてまいります。</p>
農政建設	(3) 道路整備 【再質問】	<p>今ほど、道路整備についての回答がありました。歩いたり、自転車に乗っているときに道路を見ると、傷ついているところが多くあります。清里区の道路整備は、具体的にいつ頃になるのか教えてください。</p>	<p>第3期整備計画では、「四ツ屋上深沢線の交通安全施設」の整備が440m計画されています。その他に市道は、定期的に道路パトロールを行い損傷箇所はその都度補修しています。清里区は、国道、県道もありますので、国、県とも連携して安全に通れる道路、歩道を確保してまいります。</p>
文教経済	(1) GIGAスクール (2) 観光、イベント (3) 買い物施設	<p>(1) 今年から、GIGAスクールが始まり、タブレットを使った授業が増えてきています。ですが、僕たちは、まだあまり使用目的を分かっていません。そもそもGIGAスクールの目的は何ですか。また、コロナウイルスの影響で休校になってしまい、授業も進まなくなってしまうこともあるかもしれません。そのときのためにもタブレットの使い方をしっかり理解しておいた方が良くと思いました。そこで、タブレットを家に持ち帰って勉強できるようにした方が良くと思いますが、どう思われますか。</p> <p>(2) 清里は、とても自然が豊かで、大ケヤキや坊ヶ池</p>	<p>(1) 従来の学習方法は、教科書を用いて黒板などに書かれた内容をノートに書き写す、といったような学習方法が一般的でした。こうした方法では、子どもたちの理解力に差があっても、一人一人に最適化した教材や指導ができないということが課題としてありました。また、地域間での教育格差もあり、学習レベルが違ってくるという問題もありました。1人1台の端末を配備することによって、こうした問題が解決され、先生方と生徒一人一人との双方向の教育・学びが実現され、全ての子どもたちが、自分に合った教育を受け、また災害や感染症による臨時休校の時でも、学びが失われないという土台ができることとなります。今後は、「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」使える端末の活用、ICTの実現で楽しい授業ができることとなります。</p>

グループ	項目	質問内容	答弁内容
		<p>などがあります。しかし、みんなが楽しめるような、公園などがあまりありません。そこで、豊かな自然を使って、みんなが楽しめるゴーカートやアスレチックなどの、アトラクションを作れば、町の発展にもつながると思いますが、どう考えますか。</p> <p>(3) 清里には近くにコンビニやスーパーなどの買い物ができる場所がありません。特に、高齢の方は車が使えない人も多いので買い物に困っています。中山間地などの地域にもコンビニやスーパーを造った方がいいと思うのですが、どう思いますか。</p>	<p>次に、「端末を家に持ち帰って勉強したい」ということですが、教育委員会の取扱い方針では、「学校内における1人1台の端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、授業での活用を基本としている」ことから、家庭への常時持ち帰りは行わないことにしています。ただ、今回のコロナ禍での学校休校などで経験したことを踏まえ、緊急時には、家庭への持ち帰りによりリモートで授業をすることを考えています。その際、Wi-Fi環境が整っていなかったり、児童生徒が専用で情報端末や通信環境が使えないなどオンライン学習に支障が生じる場合は、学校が所有する情報端末や通信機器を家庭に貸し出すことにより、学びを保障することになります。</p> <p>(2) 議員のアイデアは大変楽しいアイデアで、ゴーカートやアスレチックなどができればよいと思います。上越市内には議員の思っているような楽しい施設がたくさん作られています。市の主導でそれらの施設を作ることは、今考えていませんが、ぜひ皆さんから地域の観光に係る組織や地域協議会などにお話をして、例えば地域活動支援事業などで提案してもらうことも一つの方法です。楽しい施設ができるよう頑張ってください。</p> <p>(3) コンビニやスーパーなどが地域にあれば本当に助かります。しかし、これらの商業施設を作るかどうか決めるのは市ではなく民間事業者です。中山間地域や人口が少ないところではお店を作っても採算が取れないことから難しい問題です。しかし、大島区には、生鮮食品や日用品を扱うスーパーマーケット「大島やまざくら」があって地元の人たちから喜ばれています。同じような施設を作って、市から指定管理を受けることも可能性としてはあります。地元の商工会の皆さんに陳情をしてみ</p>

グループ	項目	質問内容	答弁内容
			<p>ください。</p>
<p>文教 経済</p>	<p>(1) G I G A スクール 【再質問】</p>	<p>楽しく、タブレットを使った授業をするには、どうすればいいですか。また、進んだタブレット授業をしている所では、どのようなことをしていますか。</p>	<p>教育長が答弁されましたように、今までの学習方法は、アナログ的な方法が普通で、これでは生徒一人一人に合わせた教育は難しかったのですが、G I G A スクール構想では、タブレット端末の活用で「すぐにでも」、「誰にでも」一人一人に合った教育ができます。</p> <p>ご質問のようにいろいろ楽しい活用もできます。例えば、「調べ学習」では、検索サイトを使って、生徒自らが、様々な情報にアクセスして、情報を収集・整理して情報を選択できます。また、「一斉学習」では、タブレットの活用で、一人一人の反応や考えを即座に出し合いながら、双方向に学習を進めることができます。</p> <p>上越教育大学附属中学校の授業を見てきたのですが、九州のある中学校とリモートで理科の実験授業を交換し合っていました。大変楽しそうでした。</p>
<p>文教 経済</p>	<p>(2) 観光、イベント 【再質問】</p>	<p>他に清里の自然をいかすなら、どのようなものを考えますか。大人も子どもも楽しめるイベントやスタンプラリーがいいと思います。実施できませんか。</p>	<p>議員の提案はとっても良いと思います。</p> <p>先日、牧区の棚広地区で「絶景ポイントを巡って、地域の魅力に触れるスタンプラリー」が行われました。町内会で、2年前から行われているもので、眺望を楽しみながら、集落を回り、スタンプを6つ集めると、地元産のコメ3合がもらえるという企画です。8月8日にも行われることになっています。地区外からも多くの方が訪れます。楽しそうですね。</p> <p>ただ、こうしたイベントなどは、市が主導するのではなく、皆さん方が、地域の町内会や地域協議会、街づくり組織に働きかけて、地域ぐるみで作り上げていったほうが良いのではと思います。そうすれば、市の方でも補助金を出しやすくなるのではと思います。ぜひ頑張って実現してください。</p>

グループ	項目	質問内容	答弁内容
文教 経済	(3) 買い物施設 【再質問】	<p>では、他に高齢の方が暮らしやすくするためには、どんなことが考えられますか。また、大島区などでは移動スーパーがあつて大変喜ばれていると聞いていて、清里区にも移動スーパーがあつてもいいと思うのですが、どう思いますか。</p>	<p>市長が答弁されましたように、人口の問題や地域の状況からコンビニやスーパーを作っても採算のことを考えると難しい面があると思います。ご高齢の方が暮らしやすくなるためには、様々な方法が考えられます。</p> <p>ご提案の移動スーパーもその一つです。大島区では、「有限会社やまざくら」が商業振興支援事業として市から運営を委託されて、移動スーパーを行っています。運営は厳しいですが、令和元年度では、4万7,000人弱の人たちから利用されています。また、直江津にできた無印良品では、移動販売車で地域を回って喜ばれています。こうしたことを活用するのもよいかもかもしれません。</p> <p>また別の方法として、ボランティア団体を作り、買い物支援を行うのも有効ではないでしょうか。市や、商工会などに働きかけてみてはどうでしょうか。</p>